

暖房専用熱源機

取扱説明書

保証書付

品 名	XS-4208ARSF
型 式 名	GD-4200W
BL 品 番	XS-4208ARSF

このたびは暖房専用熱源機をお買い上げいただきましてありがとうございます。

ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、十分に理解したうえで正しくご使用ください。
この取扱説明書の裏表紙が保証書になっています。
内容をよくご確認ください。
この取扱説明書は、いつでもご覧になれる身近なところへ大切に保管してください。
取扱説明書を紛失された場合は、お買い上げの販売店、または最寄りのガス会社・弊社窓口へご連絡ください。その際、機器本体の銘板をご覧のうえ、品名・製造年月をお知らせください。

ガス温水暖房システムNOOKなどの
取扱説明書も併せてお読みください。



もくじ	ページ
製品の特長	1
安全に正しくお使いいただくために	1
この取扱説明書の表示について	1
機器本体の表示について	1
必ずお守りください	2
各部の名称とはたらき	7
ご利用前の準備	8
機器の準備	8
暖房運転をする	8
床暖房の場合	8
冬期の凍結を予防するには	9
凍結予防装置による方法	9
機器の水を抜く方法	9
再使用するとき	10
凍結してしまったとき	10
点検のポイント・お手入れのしかた	11
点検のポイント(月1回程度)	11
お手入れのしかた(月1回程度)	11
定期点検のおすすめ(有料)	11
点検・お手入れ後の確認	11
暖房水の補給について	12
故障かな?と思ったら	13
燃焼ランプの点滅について	13
アフターサービスについて	14
仕様一覧	15
保証書	裏表紙

ご利用の前に

使い方

長くお使いいただくために

製品の特長

- 最大能力は、41.9kW (36,000kcal/h)で、多室暖房に最適です。
- 温水利用でお部屋の空気を汚さない快適暖房です。
- 機器の点火・消火は、床暖房リモコン、床暖房コントローラ、床暖房・浴室暖房乾燥機などで、室内より操作できます。
- 暖房水が少なくなると、自動で補給する自動補給機能付です。
- この暖房専用熱源機には、市販の週間プログラムタイマー(別売品)、床暖房リモコン(別売品)、床暖房コントローラ(別売品)を取り付けることができます。

安全に正しくお使いいただくために

■この取扱説明書の表示について

製品を正しくお使いいただくためや、お使いになる方や他の方への危害・財産への損害を未然に防止するため、以下のような表示で注意を呼びかけています。

危険

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。

警告

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。

注意

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が軽傷を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています。

お願い

安全・快適に使用していただくために、よく理解していただきたい内容を示しています。

(→P.XX)

参照ページを示しています。

■機器本体の表示について

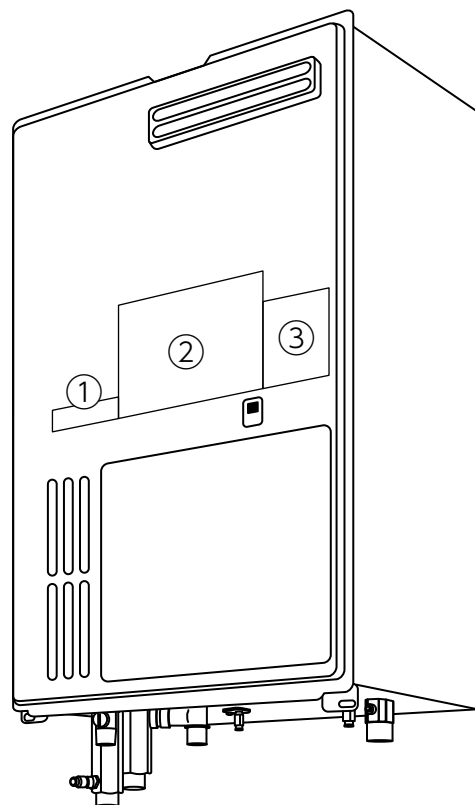
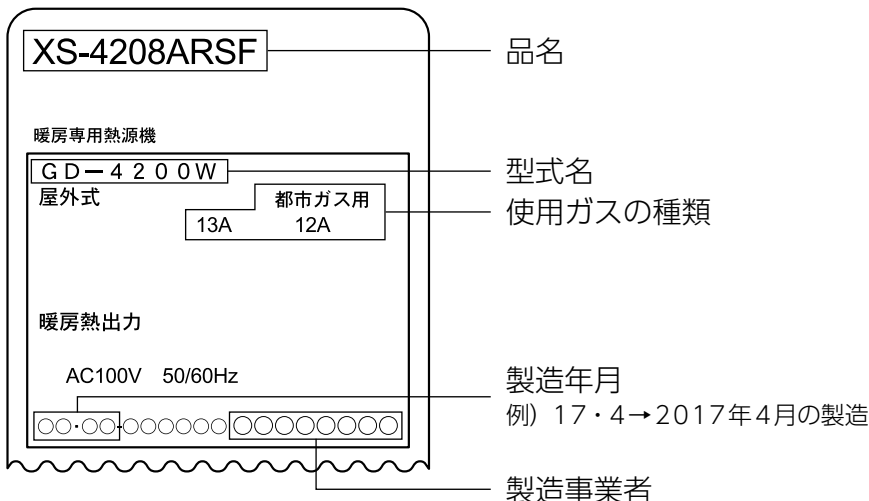
①不凍液注入識別ラベル(不凍液を使用している場合)

②使用上の注意

使用上の注意について表示しています。

③銘板

品名・型式名・使用ガスの種類・製造年月・製造事業者などを表示しています。



必ずお守りください

安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記しています。この内容は必ずお読みください。

危険

屋内に設置しない(この機器は屋外用です)

- 排気ガスが室内に充満したり正常な給排気ができないため異常燃焼し、酸欠や一酸化炭素中毒などの原因になります。

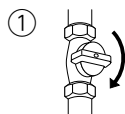


ガス漏れに気づいたときは

- ①すぐに使用をやめて、ガス栓を閉める。また、メーターのガス栓も閉める。
- ②お買い上げの販売店、または最寄りのガス事業者に連絡する。



必ず行う



すべての処置が終わるまでの間、絶対に

- ・火をつけない
- ・電気器具のスイッチの入・切をしない
- ・電源プラグの抜き差しをしない
- ・周辺で電話を使用しない

炎や火花で引火し、火災のおそれがあります。



火気禁止

ご利用の前に

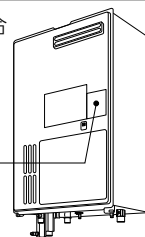
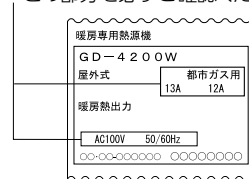
警告

機器の銘板を確認

- 機器の銘板に表示してあるガス種(ガスグループ)および電源(電圧・周波数)で機器を使用する。ガス種および電源が一致しないと不完全燃焼による一酸化炭素中毒になったり、異常点火でやけどをしたり、機器が故障する場合があります。

- 転居時の注意は(→P.14)

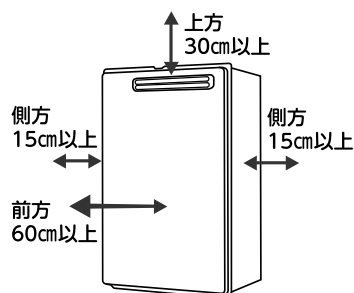
※図の銘板は都市ガス13Aの場合この部分を必ずご確認ください。



必ず行う

火災予防のために必ず守ること

機器周辺のものとは常に図の離隔距離を確保する。



必ず行う

- 機器および排気口の周辺には紙や木材・洗濯物など燃えやすいものを置かない。火災の原因になります。
- 機器の周辺では灯油・ガソリン・ベンジン・スプレーなど引火性危険物を使用しない。火災の原因になります。
- 機器の周辺や上にスプレー缶・カセットコンロ用ボンベを置いたりしない。熱で缶・ボンベの圧力が上がり爆発のおそれがあります。



機器設置および付帯工事

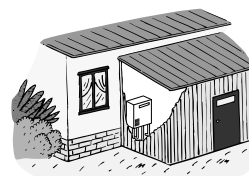
- 機器の設置・移動および付帯工事は、お買い上げの販売店、または最寄りのガス会社・弊社窓口へ依頼し、安全な位置に正しく設置する。設置工事に不備があると事故の原因になります。



必ず行う

増改築などで屋内状態にしない

- 設置後、機器や排気口を波板やビニール・塗装時に使用した養生シートなどで囲わない。不完全燃焼による一酸化炭素中毒や火災のおそれがあります。



禁止

ガス接続について

- この機器のガス管の接続はねじ接続です。ガス配管接続工事には専門の資格・技術が必要です。機器の設置・移動・取り外しおよび付帯工事の際には必ずお買い上げの販売店、または最寄りのガス会社・弊社窓口へご相談ください。



必ず行う

必ずお守りください

警告

改造・分解禁止

- 絶対に、改造・分解は行わない。改造・分解は、思わぬ事故や故障・火災の原因になります。



異常時の処置について

- 地震・火災などの緊急時の場合は速やかに使用を中止し、ガス栓を閉める。
- 使用中に異常な燃焼や臭気・異常音・異常な温度を感じた場合
- ①ただちに使用をやめて、ガス栓を閉める。床暖房リモコン・床暖房コントローラの運転スイッチも「切」にしてください。
- ②お買い上げの販売店、または最寄りのガス会社・弊社窓口へ連絡する。



機器本体やガスの接続部などに乗らない

- けがや機器の変形によるガス漏れ、不完全燃焼のおそれがあります。



このような場合は使用しない

- 増改築や家屋の修繕時(特に外壁の塗装)には、シートで排気口を覆うことがあります。このような場合は機器を使用しない。不完全燃焼や一酸化炭素中毒の原因になります。



電源コードの加工禁止

- 電源コードを切断したり加工をしない。電源コードがコンセントに届く範囲としてください。感電や火災の原因になります。



許容電力以上の使用禁止

- コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因になります。



電源プラグのほこりなどは定期的に取り除く

- ほこりがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。電源プラグを抜き、乾いた布で拭いてください。



電源プラグを抜くときの注意

- コンセントから電源プラグを抜くときは、プラグを持って抜く。コードを引っ張ると内部で断線して発熱や火災の原因になります。



電源プラグは確実に差し込む

- 電源プラグは根元まで完全に差し込む。差し込みが不完全な場合、感電・発熱による火災の原因になります。傷んだプラグ、緩んだコンセントは使わないでください。



アース必要

- この機器は接地工事(アース)が必要なもので、アースがされているか確認する。アースがされていない場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。



ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

- ぬれた手で電源プラグを触らない。感電のおそれがあります。



必ずお守りください

注意

用途についての注意

- 一般家庭での暖房(乾燥)以外の用途には使用しない。思わぬ事故につながる可能性があります。



禁止

据置台(または配管カバー)についての注意

- 据置台(または配管カバー)のフロントカバーを外した場合、作業後には必ず、外したカバーをしっかりと閉める。



禁止

オーバーフロー配管から排出される水について

- オーバーフロー配管から排出される水を飲料用・飼育用などに使用しない。



禁止

排気口についての注意

- 排気口に指や棒を入れない。故障やけがの原因になります。



禁止

機器本体の高温部に触らない

- 使用中または使用後しばらくは、排気口付近を触らない。やけどのおそれがあります。



禁止

お子さまには十分な注意を

- 子供を機器の周囲や直下で遊ばせない。
思わぬ事故につながる可能性があります。特に小さなお子さまのいるご家庭では注意してください。



禁止

ご利用の前に

お願い

別売の床暖房リモコン・床暖房コントローラの扱いについて

- 床暖房リモコン・床暖房コントローラには水をかけたり、炊飯器・電気ポットなどの上記を当てないでください。故障の原因になります。
- 床暖房リモコン・床暖房コントローラにはお子さまがいたずらしないよう注意してください。

この機器は一般家庭用です

- 業務用のような使いかたをされると機器の寿命を著しく縮めます。この場合の修理は保証期間内でも有料となります。

電源プラグを抜かない

- お手入れや水抜き(凍結予防・長期不在時)を行うとき、または突発的な自然災害(雷など)以外は、電源プラグを抜かないでください。

停電時または電源プラグを抜いたとき

- この機器は、停電時や電源プラグを抜いたときは使用できません。
- 通電復帰後は、別売の床暖房リモコン・床暖房コントローラを取りつけているお宅では、床暖房リモコン・床暖房コントローラの再設定を行い、表示を確認したあとご使用ください。

必ずお守りください

お願い

市販の補助用具について

- 事故防止のため、この機器専用の付属品・別売品以外は使用しないでください。

積雪時の閉塞^{へいそく}について

- 積雪時は給気口・排気口の点検、除雪を行い、積雪や屋根から落ちた雪により給気口・排気口が塞がれないように注意してください。故障の原因になります。

ガス事故防止のために

- 使用時の点火、使用後の消火のほか、使用中も正常に燃焼していることを機器本体の燃焼ランプで確認してください。

設置する場所や状況について

お願い

設置場所について

- 設置場所をお決めになるときは近隣の家が運転音(燃焼音・燃焼ファン・ポンプ回転音)で迷惑にならない場所に設置してください。(工事担当者にご相談ください)
- 足場などを組んだり、ハシゴ・脚立を使わなければメンテナンスができない高所などに設置しないでください。メンテナンスをお断りすることがあります。
- 塀などを増設する場合は、機器の点検・修理のためと燃焼不良の発生を防止するために空間を確保し、空気の流れが停滞しないようにしてください。

排気ガス

- 増改築によって、排気ガスが直接建物の外壁や窓・ガラス・網戸・アルミサッシなどに、当たらないようにしてください。変色・破損・腐食の原因になります。
- 排気口の周囲には、排気口からの排気ガスによって加熱されて困るもの(危険物・植物・ペットなど)を置かないでください。

給排気について

- 機器は給気・排気が十分できる場所に設置してください。給排気が不十分な場所に設置すると不完全燃焼の原因になります。

ほこり

- 砂・油煙・ペットの毛など、ほこりのたちやすい場所には設置しないでください。ほこりが給気口を塞いだり、燃焼ファンの性能を低下させ、不完全燃焼の原因になります。

塩害

- 海岸近くに設置するときは、潮風にさらされる場所を避けてください。機器が腐食し、故障の原因になります。

使用する暖房水について

- この機器は上水道用です。暖房水に地下水や温泉水、井戸水(簡易水道を含む)を使用すると、水質によっては、機器内の配管内部に異物が付着したり、配管に穴が開くなど耐久性を損なう場合や機器が正しく作動しないことがあります。この場合、保証期間内でも有料修理となります。

必ずお守りください

床暖房についての注意

警告

やけどに注意

- 床暖房の上で長時間、座ったり寝そべったりしない。低温やけどを起こすおそれがあります。特に次のような方が使用の場合は、周りの人が注意してあげることが必要です。
 - ・乳幼児・お年寄り・病人など自分の意思で体を動かさない方
 - ・疲労の激しいときやお酒・睡眠薬を飲まれた方
 - ・皮膚や皮膚感覚の弱い方



禁止

火災予防

- 床暖房の上にスプレー缶・カセットコンロ用ボンベ・ライターなどを置かない。熱でスプレー缶などの圧力が上がり、スプレー缶などが爆発するおそれがあります。



禁止

注意

床についての注意

床に水などをこぼさない

- 床面に水・薬品・しょうゆ・ペットの排泄物などがこぼれたら、速やかに拭き取ってください。常時水の飛び散る台所や洗面所周辺は、ぬれたまま長時間放置しないでください。床仕上げ材・床暖房パネルの変色、はがれ、劣化など、品質を損なう原因になります。



禁止

床暖房の上に、鋭利なもの(釘・画びょう・きり・ダニ防虫剤の注射針・はさみなど)を落したり刺したりしない

- 水漏れの原因になります。



禁止

床暖房の上に、調度品・家具などを直接置かない

- 家具などに熱がこもって、ひずみなどが生じる原因になります。床面と家具などの間に空間を設けるようにし、熱がこもらないようにしてください。



禁止

重いものはそのまま置かない

- ピアノなど重量物にはパッドなどを敷いて、一箇所に荷重がかからないよう設置してください。床が破損し、水漏れの原因になります。



禁止

キャスター付きの椅子や家具、車椅子を使用しない

- フローリング表面の傷やへこみ、はがれ、床鳴りなどの原因になります。



禁止

重量物を移動させるときは引きずらない

- 床仕上げ材表面の傷やへこみ、はがれの原因になります。椅子の脚など床に接触する部分には、フェルトなどをつけてください。



禁止

床暖房の上にエアコンやテレビなどのリモコンを長時間置かない

- リモコンの故障の原因になります。



禁止

床暖房は電気カーペットやこたつなどとの併用はしない 敷物は敷かない

- 性能が発揮できなかったり、熱がこもって床仕上げ材の割れ・そり・すき間・変形・変色などの原因になります。



禁止

床暖房を他の目的に使用しない

- 特殊な用途(例えば衣類の乾燥や動物の飼育、植物の栽培、食品の保存など)には使わないでください。



禁止

床仕上げ材のお手入れは、床仕上げ材メーカーの取り扱い方法に従う 床仕上げ材の張替えは、床仕上げ材メーカーの指定工法で施工する

- 詳しくは床仕上げ材メーカーへお問い合わせください。



必ず行う

床下の防腐・防蟻処理時、床暖房や配管などに処理剤が付着しないよう注意する

- 床暖房が破損し、水漏れの原因になります。



必ず行う

閉め切ったお部屋で長時間使用しない

- 閉め切った部屋で長時間使用すると、ごくまれに体調が悪くなる場合があります。窓を開けるなどして換気をしてください。これは、接着剤や床材に含まれるホルムアルデヒドが原因のひとつと考えられますが、床暖房以外の原因も考えられるため、工事業者にご相談ください。

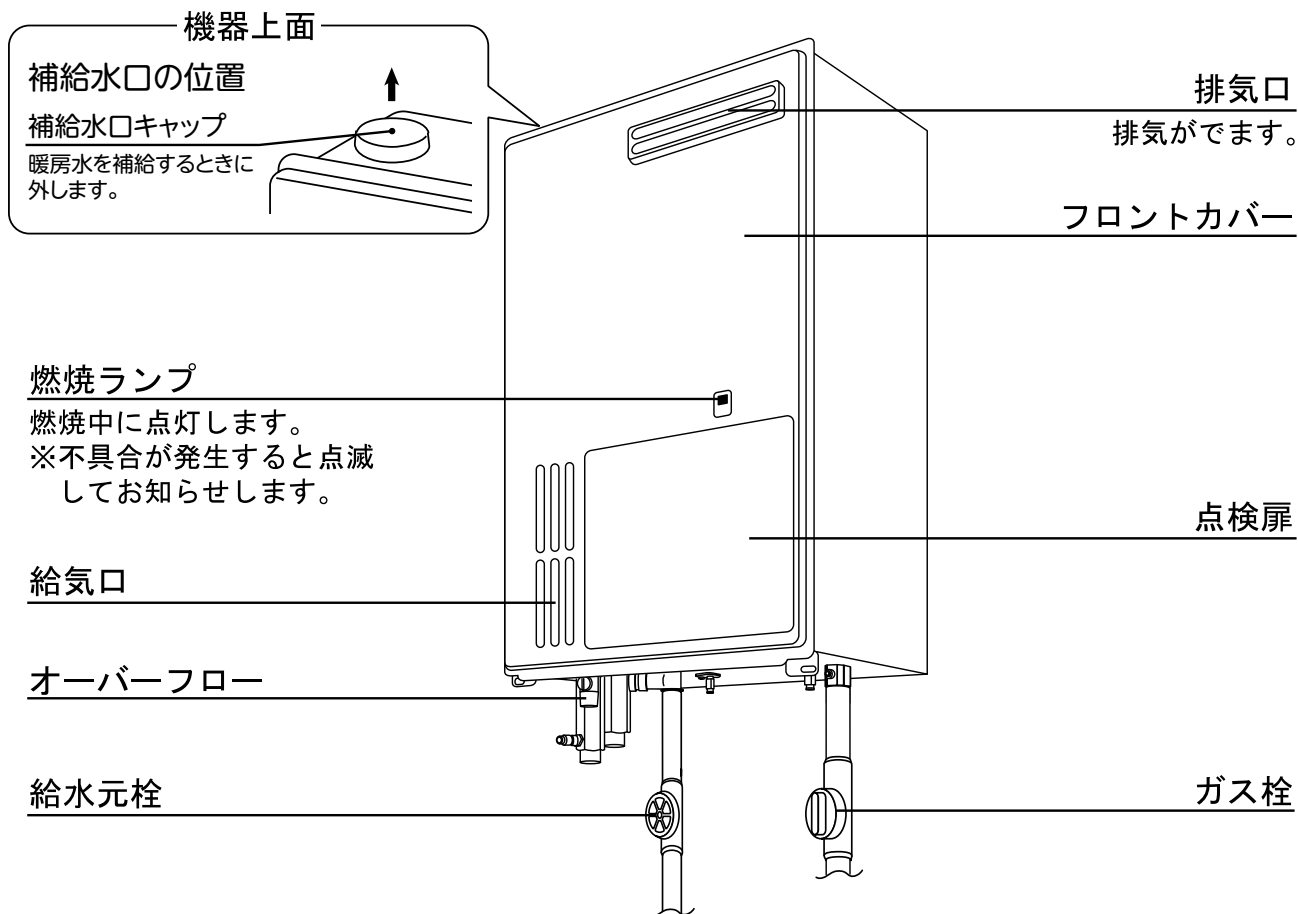


必ず行う

各部の名称とはたらき

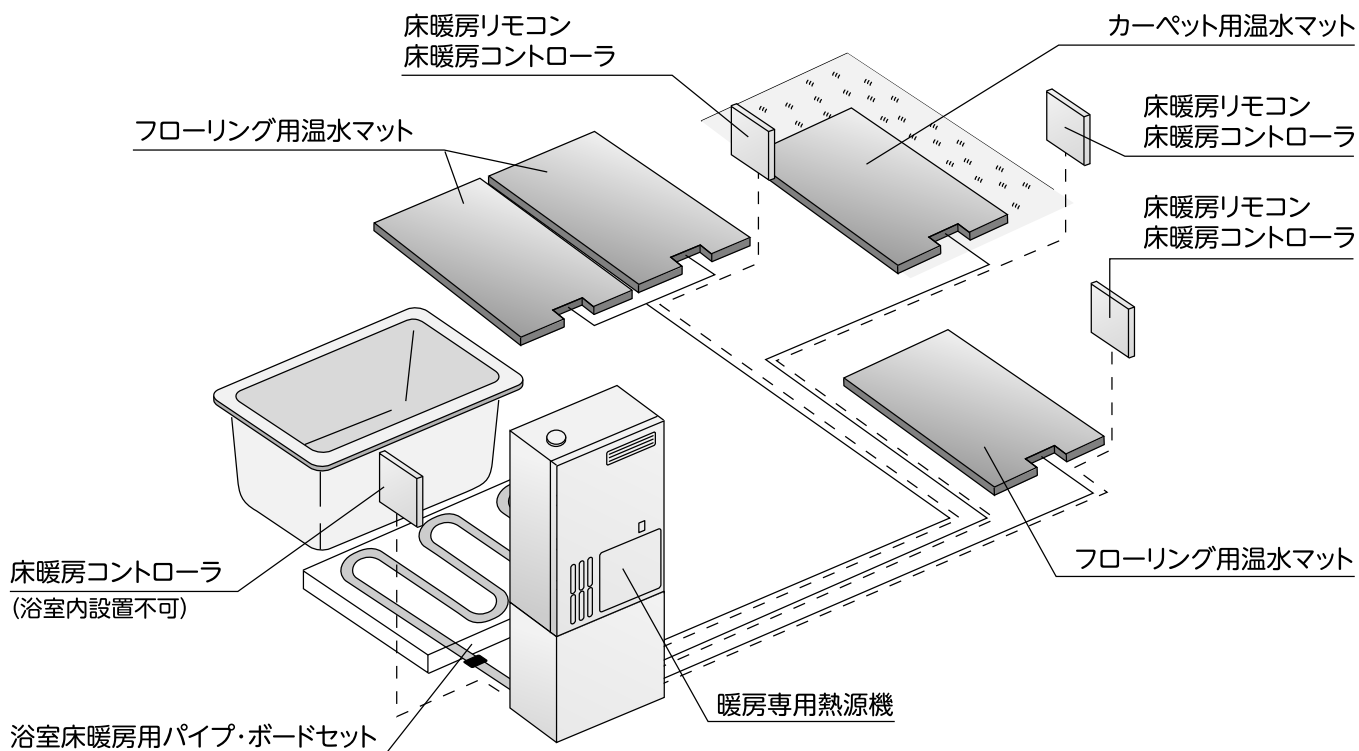
この機器の各部の名称とはたらきをご紹介します。

□ 機器本体



□ 暖房システム図

温水マットと浴室床暖房用パイプ・ボードセットの設置例



ご利用前の準備

はじめてお使いになるときは、まず機器の準備をします。

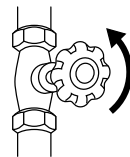
■機器の準備

1 機器や機器周辺の点検・確認を行う

■点検のポイント(→P.11)をご覧ください。

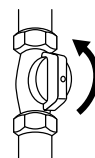
2 給水元栓を全開にする

機器の下部にあります。



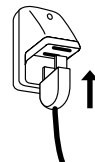
3 ガス栓を全開にする

機器の下部にあります。



4 電源プラグをコンセントに差し込む

機器周辺にあります。



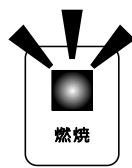
暖房運転をする

詳しくは床暖房リモコン・床暖房コントローラの取扱説明書をご覧ください。

■床暖房の場合

運転開始 床暖房リモコン・床暖房コントローラの運転を「入」にします

機器本体の燃焼ランプが点灯します。



燃焼ランプ点灯

運転ランプが点灯し、床暖房運転を開始します。

運転停止 床暖房リモコン・床暖房コントローラの運転を「切」にします

機器本体の燃焼ランプが消灯します。



燃焼ランプ消灯

運転ランプが消灯し、床暖房運転を停止します。

お願い

- 補給水タンク内の暖房水が一定量以下になると暖房運転が停止します。このとき機器本体の燃焼ランプが点滅表示します。(→P.12)
給水元栓が全開になっていることを確認してください。
- 使い始めや温度調節の変更を行ったときは、設定温度になるまでに時間がかかります。



冬期の凍結を予防するには

お願い

- 暖かい地域でも、機器や配管内の水が凍結して破損事故が起こることがあります。以下をお読みいただき、必要な処置をしてください。怠ると機器内の水が凍って機器が破損することがあります。
- 凍結により機器や配管が損傷した場合の修理費は、保証期間内でも有料となります。

処置 1

← 通常の寒さのとき

処置 2

← 外気温が -15°C を下回るとき -15°C より高くても風のある日
長期間使用しないとき

処置 1

凍結予防装置による方法

機器は、気温が下がってくると自動的に暖房低温運転(燃焼)し、暖房回路を温めて凍結予防をします。

機器の電源プラグは、抜かない **暖房回路の凍結予防のためにガス栓は開けておく**

電源プラグを抜いたり分電盤のブレーカーを「切」にすると凍結予防装置がはたらきません。

- ◆給水配管は凍結することがあります。必ず保温材を巻くなどの、地域に応じた処置をしてください。
- ◆不凍液を使用している場合もあります。機器フロントカバーに貼付の不凍液注入ラベルを確認してください。(→P.1)

⚠ 注意

- 使用後すぐに水抜きをしない。やけどのおそれがあります。機器やお湯が高温になっていますので冷えてから行ってください。
- 据置台(または配管カバー)のフロントカバーを外した場合、作業終了後には、必ず外したフロントカバーを確実に取り付ける。(→P.11)



必ず行う

処置 2

機器の水を抜く方法

入居前や長期不在で分電盤のブレーカーを「切」にする場合や、電源プラグを抜く必要がある場合には、この方法で機器内の水を排水し凍結予防をします。

排水後は、次にお使いになるまでそのままにしておいてください。

1

ガス栓と給水元栓を閉める

機器の下部にあります。

2

暖房回路の水を抜く前に、不凍液注入の確認をする

【不凍液が入っている場合】

水抜き栓(1)を外す

【不凍液が入っていない場合】

水抜き栓(1) (2) (3) (4)を外す

不凍液注入の有無は、機器フロントカバー貼付のラベルで確認します。

水抜き栓の位置は、**□水抜き栓位置図** (→P.10)をご覧ください。

3

水抜き栓からの排水を確認し、すべての水抜き栓を元に戻す

4

必ず電源プラグを抜く

お願い

- 水抜きの操作をすると、機器本体だけでなく配管や端末機器内の水も出てきます。水が流れては不都合な場所では、あらかじめ容器を用意して水を受けてください。

冬期の凍結を予防するには

■再使用するとき

水抜き後、再度使用するときは次の操作をしてください。



注意

●据置台(または配管カバー)のフロントカバーを外した場合、作業終了後には、必ず外したフロントカバーを確実に取り付ける。(→P.11)



必ず行う

1 すべての水抜き栓が閉めてあることを確認する

水抜き栓の位置は、□**水抜き栓位置図**をご覧ください。

2 給水元栓を全開にする

給水元栓は機器の下部にあります。

3 機器や配管より水漏れがないか確認する

4 ガス栓を全開にする

ガス栓は機器の下部にあります。

5 電源プラグを差し込む

コンセントは機器の周辺にあります。

お願い

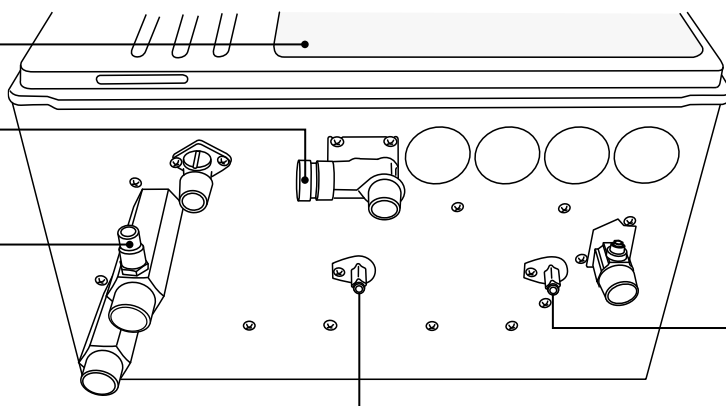
●再使用するときは、すべての水抜き栓が確実に閉めてあることを確認してください。閉めかたが不十分だったり閉め忘れたりすると、そこから水漏れします。

□水抜き栓位置図

点検扉

水抜き栓(1)

水抜き栓(2)



水抜き栓(3)

水抜き栓(4)

■凍結してしまったとき

- ◆凍結したときはガス栓を閉め、使用しない。凍結したままで使用すると、機器や配管が破損することがあります。
- ◆解凍するまで待って、水漏れのないことを確認してから運転してください。

長くお使いいただくために

点検のポイント・お手入れのしかた

 警告	●フロントカバーを外したり、床暖房リモコン・床暖房コントローラを分解したりしない。	 分解禁止
 注意	●床暖房リモコン・床暖房コントローラのお手入れには、シンナー・アセトン・ベンジンなどの有機溶剤や洗剤(塩素系洗剤・酸性洗剤・アルカリ性洗剤)、みがき粉(研磨剤の入った洗剤)を使用しない。変色や変形することがあります。 ●機器本体のお手入れは、ガス栓を閉め、電源プラグを抜き、機器が冷えてから行う。また、けがなどしないように、手袋などを着用し十分注意してください。	 必ず行う

■点検のポイント(月1回程度)

次の5つのポイントで点検してください。

1. 機器および配管から水漏れはありませんか?
水漏れは、機器の故障だけでなくお隣や階下の方にも多大な迷惑をかけます。
2. 機器および配管からガスの臭気がしませんか?
3. 運転中に機器から異常音が聞こえませんか?
4. 機器の外観に異常な変色は見られませんか?
5. 機器のまわり、および排気口のそばに燃えやすいものはありませんか?
また、整然とされていますか?

機器のまわりに雑草や木くず・箱などで雑然としていると、機器の内部に害虫(ゴキブリなど)が侵入したり、くもの巣がはったりして、機器の故障などの原因になる場合があります。



■お手入れのしかた(月1回程度)

機器本体および床暖房リモコン・床暖房コントローラのお手入れ

- 汚れは、湿ったやわらかい布で軽く拭き取ってください。
- 洗剤およびシンナー・ベンジンなどは、使わないでください。
変色・変形する場合があります。



お願い

- 安全にお使いいただくために、点検・お手入れは月1回程度必ず行ってください。
- 故障または破損したと思われるときは使用しないでください。このときご家庭で修理せず、お買い上げの販売店、または最寄りのガス会社・弊社窓口へご連絡ください。

■定期点検のおすすめ(有料)

機器を安心してより長くご使用いただくために、1年に1回程度の点検を受けることをおすすめします。点検はお買い上げの販売店、または最寄りのガス会社・弊社窓口へご相談ください。

■点検・お手入れ後の確認

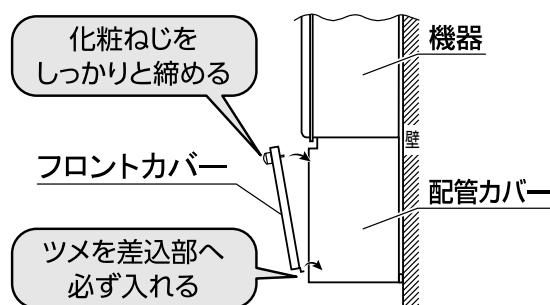
点検・お手入れ後は機器が正常に作動していることを確認してください。

万一、異常な燃焼・臭気・音を感じられたときは使用を中止し、ガス栓を閉めてお買い上げの販売店、または最寄りのガス会社・弊社窓口へご連絡ください。

据置台(または配管カバー)のフロントカバーについて

据置台(または配管カバー)のフロントカバーを外した場合、作業終了後には必ず外したフロントカバーを元のとおり取り付けてください。

- ①フロントカバー下部のツメを差込部へしっかり差し込み、外れないことを確認。
- ②化粧ねじを緩みがないように確実に締める。
※特に強風が予測される場合は、化粧ねじの緩みがないか点検をしてください。



点検のポイント・お手入れのしかた

■暖房水の補給について

暖房水の補給が必要になると、燃烧ランプが点滅し、運転を停止します。このような場合は、以下の手順で水を補給します。

□給水配管がある場合

暖房水は自動的に補給されます。給水元栓は開いたままにしておいてください。

□給水配管がない場合

暖房水は自動的に補給されません。補給水口から水を補給します。

- 1** フロントカバーの不凍液注入識別ラベル(→P.1)で、不凍液注入の有無を確認する

必ず行います。

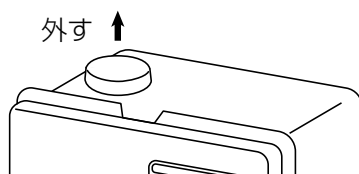
- 2** 【不凍液が入っている場合】
お買い上げの販売店、または最寄りのガス会社・弊社窓口へご連絡ください。

※暖房水補給の作業費(不凍液代を含む)は、有料となります。

【不凍液が入っていない場合】

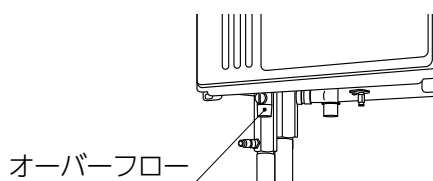
- 3 4 5** の操作を行います

- 3** 補給水口キャップを外す



運転直後など、暖房水が高温になっているときは、温風が吹出してやけどをするおそれがあります。冷えてから外してください。

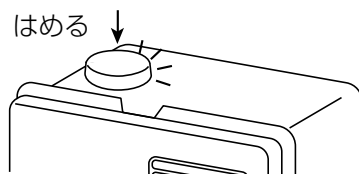
- 4** 補給水口から水を入れる



補給水口からやかんなどで、必ず水道水を補給します。(地下水などを使用しないでください)

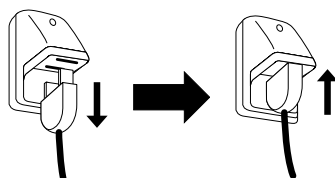
オーバーフローから水が出てくるまで入れます。

- 5** 補給水口キャップをはめる



補給水口キャップをしっかりはめます。

- 6** 電源プラグの抜き差しをする



電源プラグは、機器周辺にあります。

長くお使いいただくために

故障かな?と思ったら

■ 燃焼ランプの点滅について

この機器は故障すると機器本体の燃焼ランプが点滅し、自動的に運転を停止します。
機器本体の燃焼ランプが点滅しているときは、お買い上げの販売店、または最寄りのガス会社・弊社窓口へご連絡ください。

機器	
こんなとき	こんなことが考えられます/ここを調べてください
機器の燃焼ランプが点灯しない (運転しない)	電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれていますか ガス栓が全開になっていますか ガス栓が全開であることを確認後、床暖房リモコン・床暖房コントローラの運転スイッチを一旦「切」にし、再度「入」にしてください。
燃焼ランプが点滅(運転しない)	暖房水が少なくなっていないですか(給水配管をしていない場合)水を補給してください。
運転中に機器から異常音がきこえる	点検を依頼してください。
排気口から白い湯気が出る	冬場など外気温が低いときには、排気ガスが外気に触れると結露し、白い湯気に見えます。異常ではありません。 機器を使用していない場合でも、暖房回路の凍結予防時には白い湯気が出ます。
運転終了後もしばらく音がする	運転終了後、ポンプがしばらく回ります。
冬場など気温が低いとき暖房ポンプが自動的に動く	凍結予防のため、ポンプが自動運転を行っています。
冬期など暖房を使っていないのに機器が燃焼する	暖房回路の凍結予防のため、外気温が一定温度以下に下がると機器が自動的に燃焼します。異常ではありません。
暖房ポンプがときどき自動的に回る	エア抜きをするためと、ポンプの固着を防止するための機能ですので、異常ではありません。
ときどき水抜き栓から水が出る	水抜き栓がしっかり閉まっていないと水漏れします。
雷が鳴ったあと機器が作動しない	落雷の際に、機器内の漏電安全装置が作動したことが考えられます。この場合は電源プラグを一度コンセントから抜き、再度差し込んでください。それでも使用できないときはお買い上げの販売店、または最寄りのガス会社・弊社窓口へご連絡ください。

暖房	
こんなとき	こんなことが考えられます/ここを調べてください
床面がなかなかあたたまらない	床仕上げ材の種類・外気温・住宅構造などにより床暖房があたたまるまでの時間は異なります。 床暖房の温度設定は適切ですか。(床暖房リモコン・床暖房コントローラ取扱説明書をご覧ください) ガス栓が全開になっていますか。
床暖房を使用していないのに床があたたまる	暖房回路内にたまった空気を抜くためと暖房ポンプの固着を防止するために、約1か月ごとにポンプが作動します。このときに他の暖房端末機器(浴室暖房など)を使用していると、床の温度が一時的に若干上昇する可能性があります。
床面の暖かさが場所によって少し違う	床暖房はパイプ内に温水を循環させて床を暖めており、温水の流れている所とそうでない所では床面の温度に若干の差が発生しますが異常ではありません。
床面の足触りが場所によって少し違う	カーペットや防音フローリングなど、やわらかい床仕上げ材では床暖房の固定部分や温水接続部などのため、床面の足触りがかたく感じられることがありますが、異常ではありません。
床暖房を使用中に音がする	床暖房を使用すると、ごくまれに床面で音がする場合があります。これは、床暖房の熱によって床暖房部材および床仕上げ材など床の構造体が膨張・収縮し、その際に発生するものであり異常ではありません。
クッションフロアーが部分的に変色している	床仕上げ材がクッションフロアーシートの場合、長期間で使用になりますと床表面にいりなどが付着して、変色したように見えますが、異常ではありません。薄めた中性洗剤を含ませた布で拭くと汚れは目立たなくなります。

アフターサービスについて

サービスを依頼されるときは

- 「故障かな?と思ったら」(→P.13)をご確認ください。それでも直らない場合、あるいはご不明の場合には、お客様ご自身で修理なさらないでお買い上げの販売店、または最寄りのガス会社・弊社窓口へご連絡ください。アフターサービスをお申しつけの際は、次のことをお知らせください。

- (1) お名前・ご住所・電話番号・道順(付近の目印など)
- (2) 品名・ガスの種類
機器の銘板をご覧ください。(→P.1)
- (3) 現象
故障または異常内容などできるだけ詳しく
- (4) 訪問ご希望日

転居または機器を移設される場合

- ガスの種類が、異なる地域へ転居される場合は、改造・調整の必要があります。お買い上げの販売店、または転居先のガス会社へご相談ください。
- 増改築などのため機器を移設される場合、工事には専門の資格・技術が必要となりますので、必ずお買い上げの販売店、または最寄りのガス会社・弊社窓口へご連絡ください。
- 設置場所の選定にあたっては、運転音や振動が大きく伝わらないような場所をお選びください。また、機器本体の排気口からの温風や運転音が隣家の迷惑にならないような場所を選ぶなど、ご配慮ください。
- 転居、移設にともなう調整や工事の費用は、保証期間内でも有料となります。

補修用性能部品の保有期間について

- この製品の補修用性能部品(機能維持のために必要な部品)の保有期間は製造打切り後10年です。

保証について

- この取扱説明書の裏表紙が保証書になっています。必ず「販売店名・購入日」などの記入をお確かめになり、保証内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- 保証書を紛失されますと、保証期間内であっても修理費をいただくことがありますので、大切に保管してください。
- 保証期間経過後の故障修理については、修理により製品の機能が維持できる場合は、ご希望により有料で修理いたします。

長期間使用しない場合

- 長期間使用しない場合は次の操作をしてください。
※機器の故障や凍結および万が一のガス漏れを防止するため。
- (1) ガス栓を閉めます。
- (2) 給水元栓を閉めます。
- (3) 機器の水抜きを行います。(→P.9)
- (4) 電源プラグを抜きます。

BL 認定品について

- BL 認定品は、「優良住宅部品」「瑕疵保証・賠償責任保険付き」です。
- 一般財団法人ベターリビングお客様相談室の電話番号は「03-5211-0680」です。

アフターサービスなどについてわからないとき

- お買い上げの販売店、または最寄りのガス会社・弊社窓口へご連絡ください。

仕様一覧

〔仕様表〕

項	目	内 容
品 名		XS-4208ARSF
型 式		GD-4200W
外 形 寸 法 (mm)		幅480×奥行285×高さ750
質 量 (kg)		38(据置台含む)
種 給 排 気 方 式		屋外強制給気方式
類 暖 房 方 式		温水循環方式
設 置 方 式		屋外据置設置形
点 火 方 式		AC100V 連続放電式(ダイレクト着火)
使 用 水 圧		100～500kPa (1.0～5.0kgf/cm ²)
ポ ン プ 機 外	80℃	60kPa (17ℓ/分時)
揚 程	60℃	50kPa (27ℓ/分時)
温 度 制 御 方 式		比例制御およびON/OFF 制御方式
フ ァ ン 制 御 方 式		回転数制御
接 ガ	ス	20A (R3/4) オネジ
給 給	水	15A (R1/2) オネジ
続 暖 房	往	20A (G3/4) オネジ
暖 房	戻	20A (G3/4) オネジ
オ ー バ ー フ ロ ー		15A (R1/2) オネジ
電 電	源	AC100V (50/60Hz)
電 気 関 係	待 機 時	3W (床暖房リモコン・床暖房コントローラ1台取付時)
	消 費 電 力	250W
	凍結予防動作時	274W
安 全 装 置		ファン回転検出措置(燃焼ファン) 立消え安全装置(フレームロッド) 過圧防止安全装置(スプリング式) 空だき安全装置(バイメタル式) 過熱防止装置(温度ヒューズ) 漏電安全装置(漏電リレー) 誘導電保護装置(サージアブソーバ) 暖房燃焼低温運転(凍結予防装置)
付 属 品		配線一式、取扱説明書、設置工事説明書

〔能力表〕

使用ガス	使用ガスグループ	1時間あたりのガス消費量kW	能力kW	ガス接続
都市ガス	13A	50.2	41.9	20A (R3/4)
	12A	46.7	39.0	

◎ガス：JISに規定する標準ガス、標準圧力のとき。
 ◎本仕様は改良のためお知らせせずに変更することがあります。



商品保証書

暖房専用熱源機

品名 XS-4208ARSF

お買い上げ日	年 月 日		保証対象区分 おおよび 保証期間	熱交換器	3 年
お客様	ご芳名	様		それ以外の部分	2 年
	ご住所				
販売店	店 名	電話番号			取扱者
	住 所				印

お客様へ

●この保証書をお受取りになるときに販売年月日、販売店名、扱者印が記入してあることを確認してください。

●本証書は再発行いたしませんので紛失されないよう大切に保管してください。

上記機器をお買い上げいただきましてありがとうございます。この保証書はお客様の通常のご使用により万一故障した場合には、本書記載内容で無料修理をお約束するものです。

記

- (1)保証期間は上記品名の機器をお買い上げの日から表記の期間とし機器本体を対象とします。
- (2)機器の故障停止によって生じた営業損失は補填できません。
- (3)万一故障の場合はお買い上げの販売店、または弊社修理受付センターへお申し出ください。原則として出張修理をいたします。なお、離島および離島に準ずる遠隔地への出張修理を行った場合、出張に要する実費を申し受けます。
- (4)サービス員が参上したときに本証書をお示しください。紛失されますと有料修理となる場合があります。
- (5)保証期間中でありましても次の場合には有料修理となります。
 - (イ)当製品の取扱説明書、又は貼付ラベル等のご案内によらないでご使用になり故障した場合。
 - (ロ)当製品の工事説明書によらないで施工されたり、専門業者以外による修理、移動、改造等を行ったことにより故障した場合。
 - (ハ)設置環境の経年変化に伴う故障、及び塗装の色褪せ・摩擦等により生ずる機能に影響ない変化。
 - (ニ)海岸付近・温泉地等の地域における腐食性の空気環境に起因する機能に影響ない変化。
 - (ホ)ねずみ・くも等の生物活動に起因する故障。
 - (ヘ)住宅用途以外(例えば業務用・船舶・車両上でのご使用)にてご使用された場合の故障。
 - (ト)火災・地震・洪水・落雷等の天変地異、凍結、又は暴動等の破壊行為による故障。
 - (チ)ガス・電気・給水の供給トラブルによる故障。
 - (リ)熱量変更、又は移動等に伴う調整、確認作業。
 - (ヌ)給水配管の錆び等異物混入による故障。
 - (ル)温泉水・井戸水をご使用になったことによる故障。
 - (ヲ)水道法に定められた飲料水の基準に適合しない水をご使用になったことによる故障。
- (6)本書は、日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.
- (7)この保証書によって保証書を発行している者、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- (8)商品や技術のお問い合わせ等はお買い上げの販売店または、弊社お客様相談室へお問い合わせください。

パーパス株式会社

〒417-8505 静岡県富士市西柏原新田201

弊社窓口

修理受付センター(修理受付のみ)

TEL 0120-260-884 (通話料金無料)

携帯電話からは 03-5682-4545 へおかけください。

受付時間:年中無休 24時間修理受付

お客様相談室(商品や修理以外のお問い合わせ等)

TEL 0545-32-1389

受付時間	平日	9:00 ~ 19:00
	土曜日・日曜日・祝日	9:00 ~ 17:00

ご連絡いただいた個人情報は、弊社規定によりお問い合わせ対応に必要な範囲内で使用します。お問い合わせ内容につきましては、個人を特定できないデータに加工した後、サービス向上等のために利用いたします。

7B1063-1